

2023年12月22日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ミツウロコグループホールディングスと「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャルグループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社ミツウロコグループホールディングス（代表取締役社長 CEO 田島晃平）は、本商品を発行いたしました。また、MUFG ESG 評価において、「業界をリード」と最高評価である S ランクを取得しました。

ミツウロコグループは、経営理念を「わたしたちは豊かなくらしのになくてとして常に正道に立ち お客さま起点で社業を運営します」と掲げ、エネルギーおよび電力を中心とした生活者周辺サービスの充実を図っています。常に生活者目線で新しいサービスを拡充していくのはもちろんのこと、自然エネルギーの活用や省エネ住宅機器の設置推進等により、引き続き地球環境保全へ貢献していきます。また、「安全・安心」を最優先して提供できるよう保安や品質管理の取り組みを継続的に強化し、高い倫理観に基づき、企業の社会的責任を果たしていきます。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

ESG（サステナビリティ）全体：

- ✓ 「2050年カーボンニュートラル」「人的資本経営」「安全で安定したエネルギー供給」「地域社会との共存・共栄」をテーマにしたサステナビリティにかかわるビジョンを策定し開示している点
- ✓ マテリアリティ分析を実施し公表しており、その中で社会課題に関するリスク・機会を特定し、重要度を評価している点

環境側面（E）：

- ✓ 環境マネジメントのための基本的な考え方を策定・公表しており、企業倫理憲章においても地球環境の保全について定めている点
- ✓ 気候変動への対応として、2050年の長期目標を定めており、具体的なアクションおよびアクションプランを定め、公表している点。また、環境配慮設備投資として、SmartOWL®による配送効率化の取組の詳細とCO2削減効果について公表している点
- ✓ TCFD 提言に即した気候変動対応の情報開示を行っており、シナリオ分析に基づいた評価結

果が開示され、炭素税等を用いた定量分析が実施されている点。また、特定された機会とリスクについての対策・施策の方向性、取締役会によるガバナンス体制が開示されている点

- ✓ GHG 排出量のうち、スコープ1及びスコープ2を連結ベース、スコープ3はエネルギー事業・電力事業で算定・把握しており、2020年度から第三者認証を取得している点

社会側面 (S) :

- ✓ 社会に関する取り組みとして「エネルギー・電力の安定供給」「お客様の安全確保・品質管理」「防災対策」「人権の尊重」「健康経営」「インクルージョン&ダイバーシティ」「人財育成」「地域社会」のテーマについてそれぞれ基本的考え方を策定・公表している点
- ✓ 労働安全衛生法により必要な事業所（フーズ事業）においてリスクアセスメントを実施しており、労働安全衛生委員会を設置し、対応している。エネルギー事業におけるLPG事業については、ガス事業に係る法令において保安の定めがあり、厳密に対応している点
- ✓ 国際連合「ビジネスと人権に関する指導原則」に沿った取り組みを推進することを定めた、ミツウロコグループ人権方針が策定され、公表されている点

ガバナンス側面 (G) :

- ✓ 取締役会の実効性評価について、2015年からアンケートによる評価を実施しており、適宜弁護士等の第三者に意見を求め客観性を確保するよう努めている点
- ✓ 取締役会・代表取締役への報告および監督を受けるリスク管理委員会が設置されている点
- ✓ ミツウロコグループ贈収賄防止に関する基本方針が定められており、コンプライアンス研修等において教育および浸透を図り、内部監査室による定期的監査も実施している点

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上